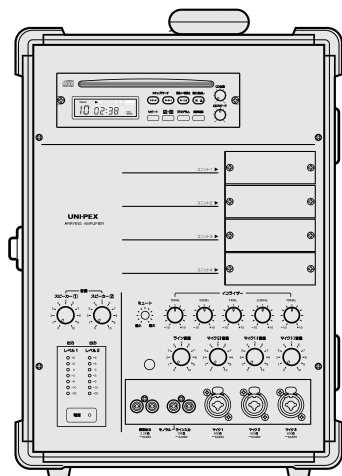
UNI-PEX

取扱説明書（保証書付）

定格出力130W／CDプレーヤー付

キャリングアンプ

CGA-134CD



このたびは、キャリングアンプをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

●ご使用前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
●お読みになったあとは、必ず保存してください。

ご注意

CD-R、CD-RWなどに書込まれた音楽データについてはデータ書込みの状態、及び使用メディアの性能・品質などにより、正常に再生できない場合がありますので、ご使用に際しては充分ご注意ください。

目次

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例


△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。


⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。


●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。


この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。




分解／改造はしない

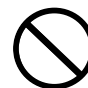
火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



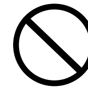


この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異物を入れない／濡らさない
水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。(雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。)



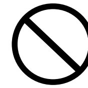
通風孔をふさがない
通風孔をふさぐ、ものを掛けたり通風を悪くすると内部に熱がこもり火災の原因となります。



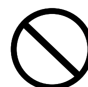
電源コードを傷つけない
電源コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったりすると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)販売店などに交換をご依頼ください。



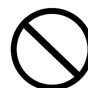
表示された電源電圧以外の電圧で使用しない
火災・感電の原因となります。



ＡＣサービスコンセントに接続する機器の消費電力の合計は、機器に表示しているW数またはA数を超えない。
火災の原因となります。音響機器以外は接続しないでください。



ＡＣ接続コードは機器に付属の物、または指定の物以外は使用しない
火災・感電の原因となります。



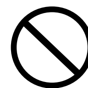
屋外で使用中に雷が鳴り出したら、使用しない
落雷の原因となります。使用を中止し、機器から離れてください。



表示部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない
事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。



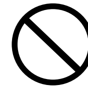
ワイヤレスマイクを危険作業の誘導などに使用しない
場所や距離や周囲の雑音条件によっては電波が到達しなかったり、瞬間的に電波が遮られたりして放送が途切れたりして、作業の指示などが完全には伝達できない場合があり、事故の原因となることがあります。



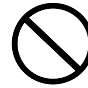


この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

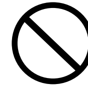
湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない
火災・感電の原因となることがあります。



不安定な場所に置かない
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



電源コード、スピーカーコードを熱器具に近づけない
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



異常に温度が高くなる場所に放置しない
窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
火災の原因となることがあります。



お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因となることがあります。

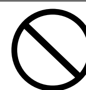
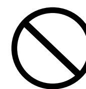
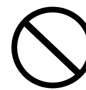
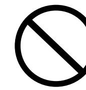
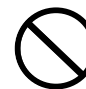
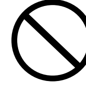


電源を入れる前には音量を最小にする
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。



廃棄は専門業者に依頼する
燃やすと化学物質などで目を傷めたり、火災ややけどの原因となります。



 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。	
樹脂加工部に対してベンジンやシンナーなどの溶剤を使用して清掃しない。また、タバコなどの火を近づけない 部品変形により故障して、火災などの原因となることがあります。	
長時間音が歪んだ状態で使わない スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。	
濡れた手で、電源コードを抜き差ししない 感電の原因となります。	
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災、感電の原因となります。必ずプラグを持って抜いてください。	
使用中又は使用後すぐに放熱器にさわらない 放熱器が熱くなっている場合がありますので、やけどの原因となることがあります。	
使用中は筐体蓋を取り付けない 内部に熱がこもり火災の原因となります。	
移動の際は必ず筐体ふたを確実に取り付けて持ち運ぶ 落下やけがの原因となることがあります。	
移動の際は必ず正立した状態で移動する 故障して、火災などの原因となることがあります。	
移動するときは、コード類を傷つけない 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。	
この機器に乗ったり腰掛けたりしない 特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。	
ＣＤ挿入口に異物を入れない 火災や感電の原因となることがあります。	
オーディオ機器、外部スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。	
1年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。	

設置・使用上のご注意

●本機の放熱孔をふさがないよう後面に10cm以上の空間を確保してください。
●本機を水滴または飛沫のかかる場所で使用しないでください。
●使用中に強い衝撃や振動を加えないでください。音切れや故障の原因となることがあります。
●本機を雑音発生の原因になる機器※の近くには設置しないでください。
※高周波機器(乾燥機,医療機器など)、電気溶接機、ブラッシングモーター、自動車の通る道、携帯電話機、デジタル機器(コンピューター、電子楽器など)、空気清浄器など。

移動(輸送)時について

**●本機の移動時は前面と後面にふたを確実に取り付けてください。前面には、必ず「UNI-PEX」のロゴマークが印刷された前面用のふたを取り付けてください。
また、移動時に横倒しにしたり、上下逆にしないでください。必ず正立した状態で移動してください。**

各部の名称と説明（前面）

スピーカー出力2 音量調節つまみ
スピーカー出力2に接続されたスピーカー出力の音量を調節します。

スピーカー出力1 音量調節つまみ
スピーカー出力1に接続されたスピーカー出力の音量を調節します。

ご注意…
マイクへ過大入力が入ったときや、各入力・内蔵CDプレーヤーの音量調節つまみを上げ過ぎますと、スピーカー出力(1/2)とライン出力から歪んだ音が出力されます。そのような場合はマイクを口元から離すか、各入力・内蔵CDプレーヤーの音量調節つまみを各々歪まないように調節してください。スピーカー出力(1/2)音量調節つまみを絞っても歪んだ音は変わりません。

CDプレーヤー部
P8〜13のCDプレーヤー部の説明をご覧ください。

ブランクパネル
（ワイヤレスチューナーユニット取付部）
別売のチューナーユニット、または入力ユニットEU-300を合計4台まで組み込むことができます。P14〜16のワイヤレスチューナーユニットについての各説明をご覧ください。

取手

フェーダー減衰量調節つまみ
右記のオートマチックフェーダー回路についての説明をご覧ください。

イコライザー音質調節つまみ
右記の音場補正イコライザーの説明をご覧ください。

スピーカー1/2出力表示灯
スピーカー出力1/2の音量をそれぞれ表示します。赤色のLEDが点灯しないように各音量を調節してください。

マイク1/2/3音量調節つまみ
本機のマイク1/2/3入力に接続されたマイクロホンの音量を調節してください。

電源表示灯
本機の電源が入ると緑色に点灯します。

マイク1/2/3入力
(−62dBV 600Ω 電子平衡)
マイクロホンの接続にはキャノンタイプコネクター、及び大形単頭プラグが使用できます。プラグの抜けなどのトラブルを防ぐためにキャノンタイプコネクターの使用をおすすめします。P18のキャノンタイプコネクターの説明をご覧ください。

リミッター動作設定ジャンパーピン（ゴムキャップ）
リミッタ機能を解除する場合はこのゴムキャップをはずし、内部のジャンパーピンを差し換えてください。P5のリミッター機能についてをご覧ください。

ライン音量調節つまみ
ライン入力に接続された機器の音量を調節してください。

録音出力
(−10dBV 2.2kΩ 不平衡)
カセットデッキなどを接続してください。この出力はモノラルです。接続デッキがステレオタイプの場合はL／Rに関係なく接続してください。

ライン入力(−22dBV 10kΩ 不平衡)
カセットデッキなどを接続してください。本機はモノラルですのでステレオで入力された音もモノラル出力になります。又接続するピンジャックが片方の場合は、「モノラル」側に接続してください。

オートマチックフェーダー回路について

●本機はオートマチックフェーダー回路付です。マイク放送(ワイヤレスマイク放送も含む)時には、内蔵のCDプレーヤーやライン入力のミュージック放送の音量を自動的に減衰します。
（図1参照）

●減衰量はフェーダー減衰量(ミュート)調節つまみで調節する事ができます。右へ回すと、減衰量が大きくなり、左へ回すと小さくなります。(図2参照)

●マイク放送が終わるとミュージック放送の音量が自動的に元の音量に戻ります。

図 2　●フェーダー減衰量調節つまみ

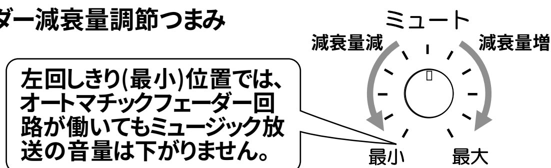
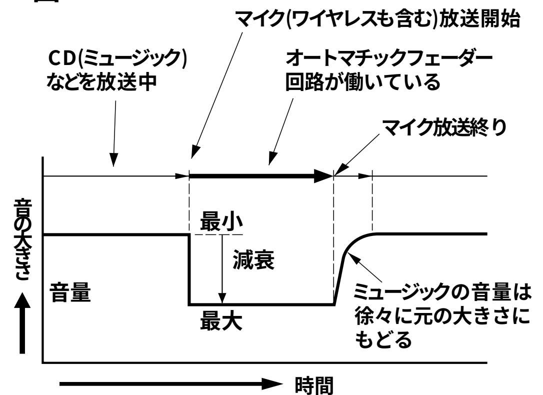


図 1

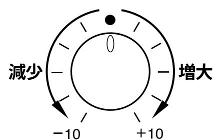


音場補正イコライザーの説明

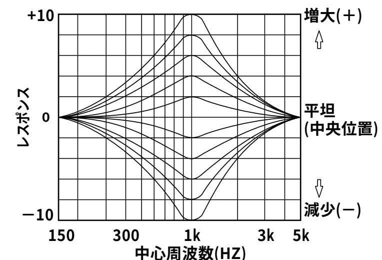
●5ポイントの各周波数(100Hz/330Hz/1kHz/3.3kHz/10kHz)でのレベルを＋10dB～－10dBまで連続的に変化させるための調節つまみです。各音場に合わせ、5ポイントの周波数特性を、必要に応じて補正することにより、マイク放送時のハウリング(キーンという音が出る)を抑えたり、反響の多い場所で明瞭度を上げるのに効果があります。

周波数特性のレベル調節とめやす

イコライザー調節つまみ



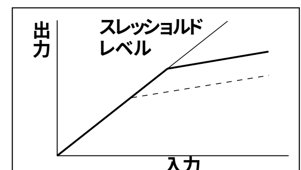
○つまみ位置が中央でフラットな周波数特性です。
○つまみを「＋」方向でレベルが最大10dB増大します。
○つまみを「－」方向でレベルが最大10dB減少します。



リミッター機能について

●マイク回路(マイク入力1/2/3、ワイヤレスマイク4系統※)への過大入力時のひずみやハウリングなどを軽減するリミッター機能が組み込まれています。(※別売ユニット組込時)

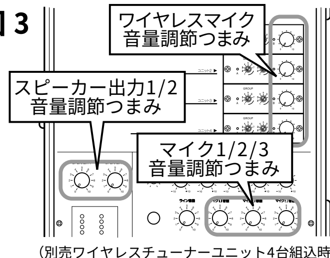
ご注意･･工場出荷時は「リミッター動作オン」に設定しています。本機のリミッター機能を有効にご使用いただくため、下記の項目をお読みになり適切な設定の上ご使用ください。



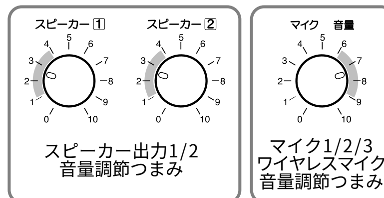
●リミッター機能を効果的にご使用いただくために

本機のマイク入力は、マイク音量調節つまみとスピーカー出力1/2音量調節つまみの両方で出力レベル(スピーカーの音量)を調節するようになっています。図3のような各つまみの位置に設定することで、リミッターが動作しはじめるマイク入力のレベルを調節することができます。使用状況に合わせ各音量調節つまみを設定してください。

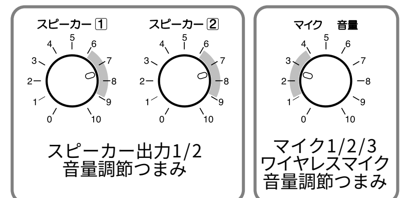
図 3



■比較的小音量でリミッターが効き始める設定



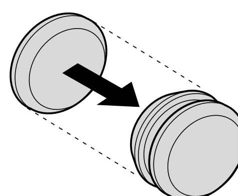
■比較的大音量でリミッターが効き始める設定

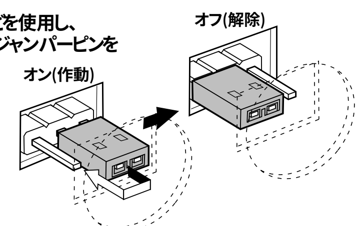


●リミッター動作の解除について

ご使用状況などによりリミッター機能を解除される場合は、次の要領で「リミッター動作設定ジャンパーピン」の差し換えをおこなってください。（図4参照）

図 4　ゴムキャップを取り外す　　内部のジャンパーピンを差し換える





各部の名称と説明（後面）

アンテナ感度切換スイッチ

ワイヤレスチューナーユニット組込時、アンテナの感度を使用状況に合わせてハイ／ローを選択してください。出荷時のスイッチ設定は"ハイ"(従来性能)になっていますが、1)～4)の場合は"ロー"に切り換えて感度を落としますと、混信を防ぐことができます。

1) 他のグループのマイクを近接場所(30m以上離れた場所)で同時に使用する場合。
2) 同一グループのマイクを近接場所(100m以上離れた場所)で同時に使用する場合。
3) 受信アンテナの設置場所によって、マイクが2m以内の距離に接近する場合。
4) その他、電波障害による混信がある場合。

ご注意…アンテナ感度切換スイッチを"ロー"に切り換えた場合、ワイヤレスマイクの通達距離は1/2～1/3に減少します。

放熱器

⚠注意

使用中又は使用後すぐに放熱器にさわらないでください。放熱器が熱くなっている場合がありますので、やけどの原因となることがあります。

電源スイッチ

このスイッチを押すと電源が入ります。

AC電源入力端子

付属のAC接続コードを使用し、ACコンセントに接続してください。

⚠警告

付属又は指定の接続コード以外はご使用にならないでください。火災・感電の原因になります。

サービスコンセント(非連動)

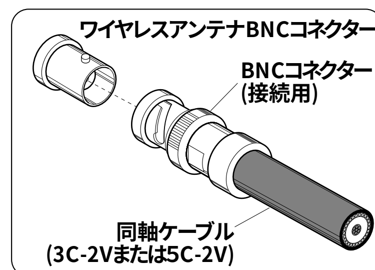
音響機器以外は接続しないでください。

⚠警告

接続する機器の消費電力の合計が100Wを超えないようにしてください。火災の原因になります。

ワイヤレスアンテナBNCコネクター(A/B)

ワイヤレスチューナーユニット組込時、ワイヤレスアンテナを接続します。接続には必ずBNCコネクターをご使用ください。 P15のアンテナ設置上のご注意をご覧ください。



ご注意…
BNCコネクターからはファンタム電源が出ています。ショートさせないようご注意ください。又指定のワイヤレスアンテナ以外は接続しないでください。簡易型ワイヤレスアンテナはAA-382(別売)をご使用ください。

スピーカー出力1/2

4Pキャノンタイプコネクターです。P7のスピーカの接続方法をご覧ください。

アース端子

このアース端子は他の音響機器を接続した場合の雑音の低減をはかるためのものです。安全アース(接地用)ではありません。

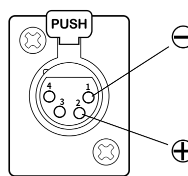
ライン出力ジャック

(0dB 600Ω 不平衡)
別売のアンプ内蔵モニタースピーカーMAS-102Aを接続してください。

スピーカーの接続方法

ローインピーダンススピーカーの接続

図 5



●EWS-120（防滴形）を使用される場合、接続にはEWS-120に付属の防滴コネクター（ノイトリック製　NLT4FX-BAG）付スピーカーコード(20m)をご使用ください。

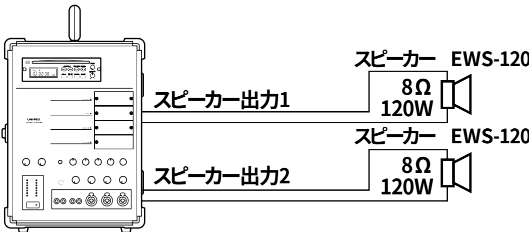
●ローインピーダンス出力は図5のようにコネクターに結線されています。(詳しくはP18のキャノンタイプコネクターの説明をご覧ください。)

●本機のスピーカー出力1／2に各々接続できるスピーカーは下表のとおりです。

適合負荷インピーダンス	スピーカーの必要容量
4Ω〜16Ω	65W以上

図 6 接続例

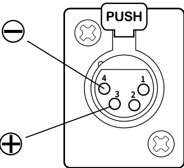
●各スピーカー出力にEWS-120を1台接続



特にご注意を..●ローインピーダンススピーカーとハイインピーダンススピーカーを同時に使用することはできません。
●多数のスピーカーを接続するときは、全スピーカーの合成インピーダンスが4Ω以下にならないようにしてください。
●使用するスピーカーの定格入力は、スピーカー1個に加わる入力W数より大きいものを使用してください。

ハイインピーダンススピーカーの接続

図 7



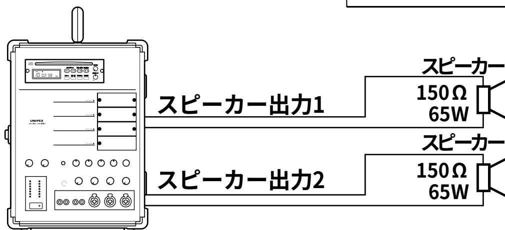
●ハイインピーダンススピーカーを接続する場合は別売のキャノンタイプコネクター付スピーカーコード LS-1204※（20m）を使用してください。
※ LS-1204はロー／ハイインピーダンス兼用のスピーカーコードです。

●ハイインピーダンス出力は図7のようにコネクターに結線されています。(詳しくはP18のキャノンタイプコネクターの説明をご覧ください。)

●本機のスピーカー出力1／2に各々接続できるスピーカーは下表のとおりです。

適合負荷インピーダンス	スピーカーの必要容量
150Ω以上	スピーカー(トランス付)の合計容量が65W以内

図8　接続例



特にご注意を..●スピーカーの合成インピーダンスが、アンプの適合インピーダンスより小さくならないようにしてください。
●スピーカーの合計W数はアンプの定格出力以下にしてください。
●ハイインピーダンススピーカーとローインピーダンススピーカーを同時に使用することはできません。
●**感電に注意!**出力端子には、定格出力時に100Vの電圧がかかります。

CDプレーヤー部の説明

(各部の名称と説明)

スキップ/サーチボタン（アップ）
曲(TRACK)の送り選択をするときに押します。演奏中、このボタンを0.5秒以上押し続けると曲を早送りします。

スキップ/サーチボタン（ダウン）
曲(TRACK)の戻り選択をするときに押します。演奏中、このボタンを0.5秒以上押し続けると曲を早戻しします。

再生/一時停止ボタン
CDの演奏を始めるときに押します。また演奏中に一時停止（ポーズ）するときもこのボタンを押します。

停止/取出しボタン
演奏を停止するときに押します。CDを取り出すときは停止中にこのボタンを押します。

CD音量調節つまみ
CDの音量を調節するときに使用します。

スピード調節つまみ
CDの演奏スピードを調節するときに使用します。

CD挿入口
CDを挿入します。シングルCD(8cm CD)には対応していません。故障の原因になる場合がありますので使用しないでください。

ディスプレイ
操作または動作状態を表示します。下記説明をご覧ください。

リピートボタン
リピート演奏をするときに押します。押すたびに「1曲リピート」→「全曲リピート」→「解除」と切り替わります。

時間表示切換ボタン
演奏時間の表示を切り換えるときに押します。押すたびに「1曲の経過時間」→「1曲の残り時間」→「全曲の残り時間」と切換わります。

プログラムボタン
プログラム演奏のプログラム内容を設定するときに押します。

A-Bリピートボタン
A-Bリピート演奏の開始点と終了点を設定するときに押します。

(ディスプレイ部の名称と説明)

ディスプレイのバックライトは停止状態、CD未挿入状態が15分継続すると消灯します。

再生表示
演奏状態のときに点灯。

演奏時間表示
演奏中の曲、またはCD全曲の経過時間及び残り時間の目安を表示。

トラック表示
演奏中の曲（トラック）番号を表示。

一時停止表示
一時停止状態のときに点灯。

リピート表示
リピート演奏のとき点灯。

(1) ：1曲のみリピート演奏

ALL ：全曲リピート演奏

A-Bリピート表示
A-Bリピート演奏のとき点灯。

プログラム表示
プログラム演奏のときに点灯。

演奏時間表示（分:秒）
CDの経過または残り時間を表示。演奏スピード調節時は調節値（±15%）を表示。

演奏スピード調節表示
CDの演奏スピード調節中は「SPEED」と、調節状態「＋」「－」を表示。調節値は演奏時間表示に点灯。

演奏時間モード表示
時間表示切換ボタンを押しますと下表の順に表示が切り換わります。

演奏時間モード表示	演奏時間表示の内容
ELAPSED	演奏中の曲の経過時間
SINGLE REMAIN	演奏中の曲の残り時間
TOTAL REMAIN	CD全曲の残り時間

操作のしかた



注意 電源を入れる前には各音量を最小にする。突然大きな音がでて聴力障害などの原因になることがあります。

再生のしかた

1. 電源を入れる

□本機の電源スイッチを押して電源を入れ、電源表示灯が点灯していることを確認してください。

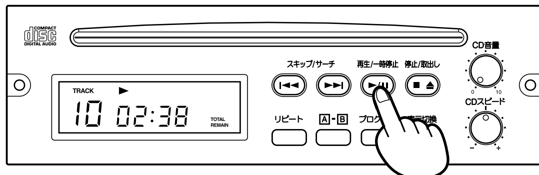
2. CD挿入口にCDを入れる



□レーベル面を上にしてCDを入れると、トータルトラック及び全演奏時間を表示し停止状態になります。

3. 再生/一時停止ボタンを押す

□再生/一時停止ボタンを押すたびに、再生／一時停止を繰返します。



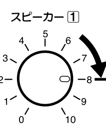
◇すでにCDが入っているときは“ TRACK ”が点灯しています。CDは入れられませんので、無理に入れないでください。

◇シングルCD(8cmCD)は使用できません。

◇CD-R、CD-RWなどに書込まれた音楽データについては、正常に再生できない場合がありますのでご注意ください。

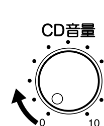
4. スピーカー(1/2)音量を調節する

□スピーカー出力1/2音量調節つまみを目盛位置「8」をめやすに調節してください。



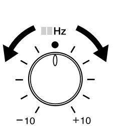
5. 音量を調節する

□CD音量調節つまみを適当な位置に調節してください。



6. 音質を調節する

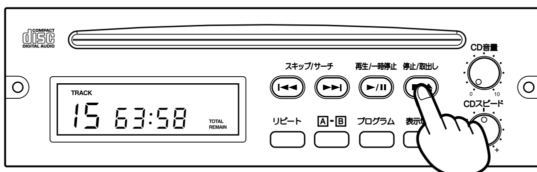
□音質を各イコライザー音質調節つまみで調節してください。



CDを取り出すには

停止/取出しボタンを押す

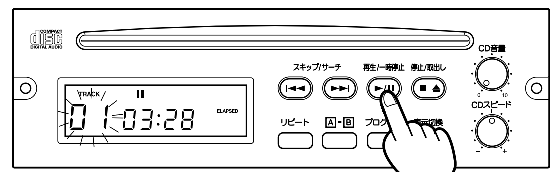
□停止中に停止/取出しボタンを押しますとCDが出てきます。演奏中の場合は停止/取出しボタンを押して演奏を停止してから、もう一度押してCDを取り出してください。



演奏を一時停止（ポーズ）するには

再生/一時停止ボタンを押す

□演奏中に再生/一時停止ボタンをおしますと演奏が止まります。再度押しますと再生します。



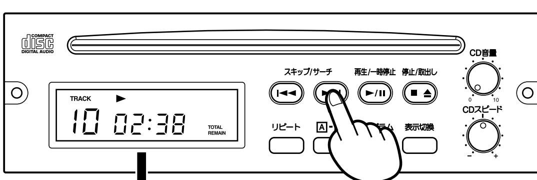
トラック表示が点滅

曲を選ぶには

●次の曲を聴きたいときには

スキップ/サーチボタンを押す

□演奏中にスキップ/サーチボタン[▶▶I]を押すと次の曲の頭に移動し、演奏を開始します。停止中に押すと次の曲番号に表示が換わります。

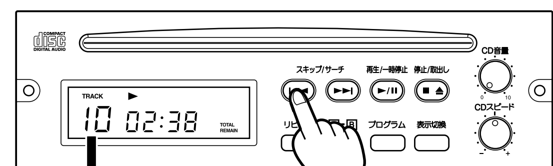


※演奏中の操作例

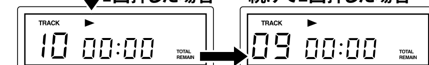
●前の曲を聴きたいときには

スキップ/サーチボタンを押す

□演奏中にスキップ/サーチボタン[I◀◀]を押すと演奏中の曲の頭に戻り、演奏を開始します。続けて2回押すと前の曲の頭に移動し、演奏を開始します。停止中に押すと前の曲番号に表示が換わります。



1回押した場合　続けて2回押した場合



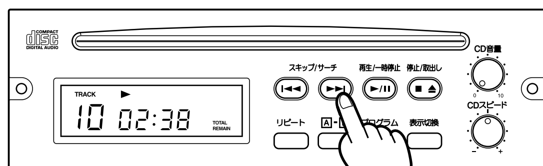
※演奏中の操作例

早送り／早戻しするには

●曲を早送りするには

スキップ/サーチボタンを押し続ける

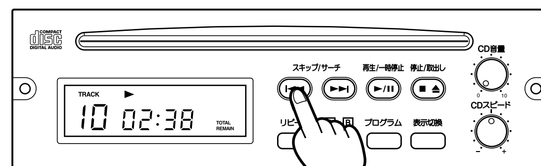
□0.5秒以上押すと早送りし、離すとその位置から演奏を開始します。



●曲を早戻しするには

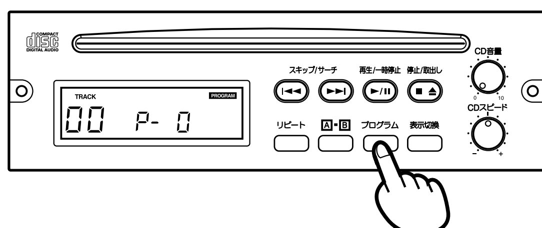
スキップ/サーチボタンを押し続ける

□0.5秒以上押すと早戻しをおこない、離すとその位置から演奏を開始します。

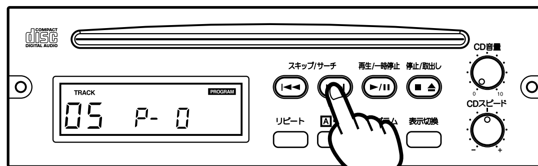


プログラム演奏をするには(演奏する曲と曲順を自由に設定する)

①停止中にプログラムボタンを押す

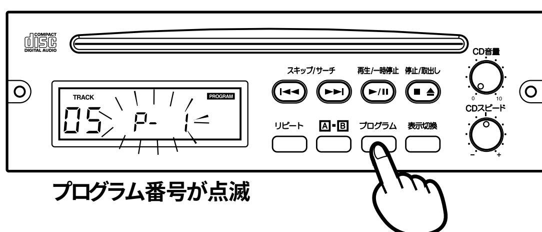


②スキップサーチボタンを押しプログラムしたい曲番を表示させせる。



③プログラムボタンを押し曲番を登録する

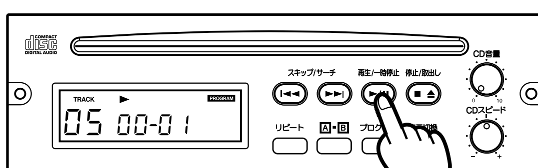
②③を繰り返し最大32曲まで登録できます。



プログラム番号が点滅

④再生/一時停止ボタンを押す

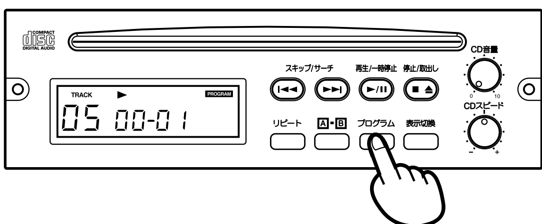
プログラムした曲順で演奏します。



●プログラム内容を確認するには

登録後、プログラムボタンを押す

上記の③で登録後プログラムボタンを押すとプログラム内容を確認することができます。



●プログラム内容を解除するには

プログラム演奏中にプログラムボタンを押す

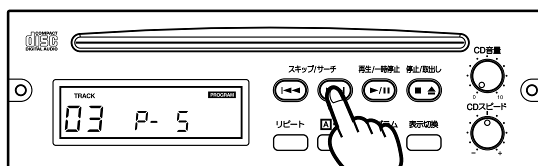
□ディスプレイの“ PROGRAM ”が消えて、演奏している曲から通常の演奏になります。

●プログラム内容を変更するには

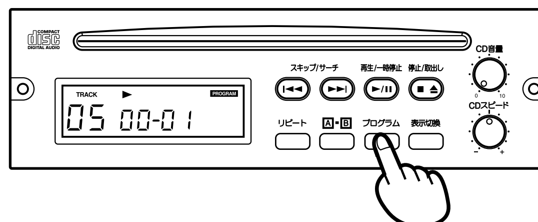
①登録後、プログラムボタンを押す

左記のプログラム内容を確認する要領で変更したいプログラム番号を選択します。

②スキップサーチボタンを押し変更したい曲番を表示させせる。



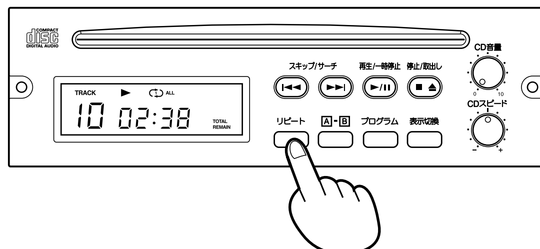
③プログラムボタンを押し曲番を登録する



1曲または全曲を繰返し聴くには(リピート演奏)

リピートボタンを押す

□押すたびに (1)→ (ALL)→無表示の順に変わります。



(1)	1曲リピート（今演奏している曲を繰り返し演奏します。）
ALL	全曲リピート（CD全曲を繰り返し演奏します。）
	リピート解除（CDの最後の曲まで演奏します。）

◇リピート演奏について

・演奏中の曲または、CD全曲を繰り返し演奏します。

指定した部分を繰返し聴くには(A-Bリピート演奏)

注意）リピート演奏中、またはプログラム演奏中にこの設定はできません。

●A-Bリピート演奏設定例

A-Bリピート演奏区間

◆4曲目の指定した部分を繰り返し演奏

CK 3	TRACK 4	TRACK 5	TRACK 6	TRACK 7	TRACK 8
	A B				

◆6曲目の頭から8曲目の途中までを繰り返し演奏

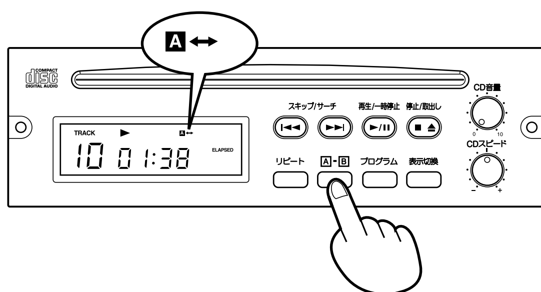
CK 3	TRACK 4	TRACK 5	TRACK 6	TRACK 7	TRACK 8
			A		B

◇A-Bリピート演奏について

・演奏中のCDの指定した部分を繰り返し演奏します。（指定できる部分は連続する1区間のみ）

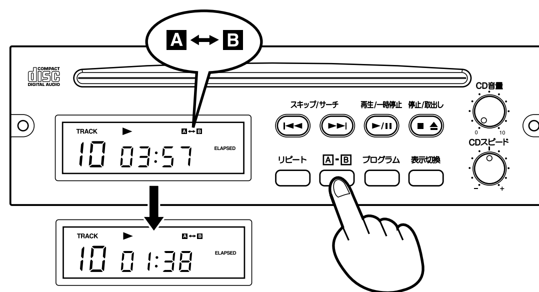
①A-Bリピートボタンを押す
（開始点の設定）

演奏中、繰り返したい部分の開始点でA-Bリピートボタンを押します。



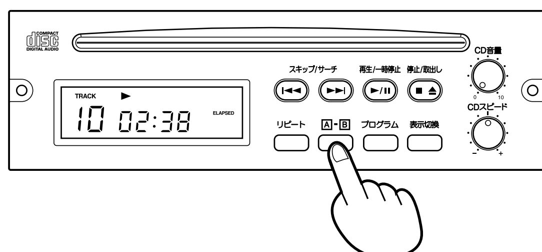
②A-Bリピートボタンをもう一度押す
（終了点の設定）

繰り返したい部分の終わりでA-Bリピートボタンを押します。その後、その区間の繰り返し演奏が開始します。



●A-Bリピート演奏を解除するには
A-Bリピート演奏中にA-Bリピートボタンを押す

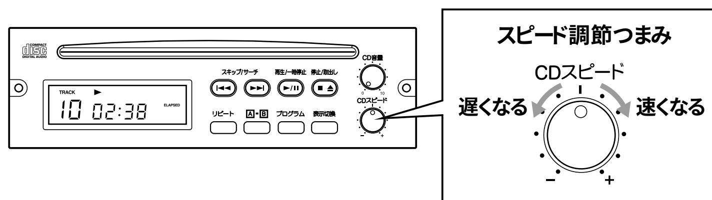
ディスプレイの“ A-B ”が消えてA-Bリピートは解除され、通常の演奏に戻ります。



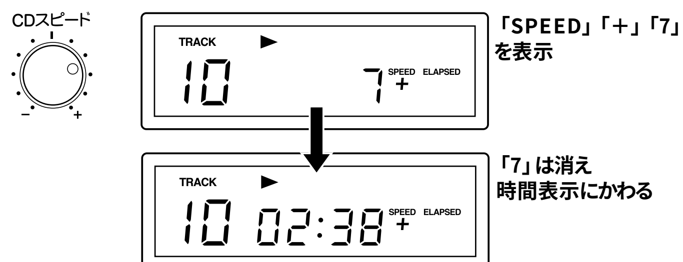
演奏スピードを調節するには(CDスピード調節)

再生中にスピード調節つまみをまわす

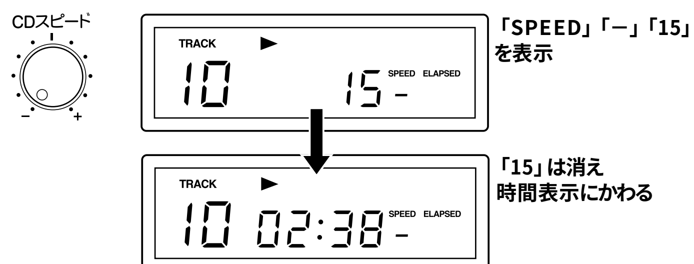
□再生中、スピード調節つまみをまわし、演奏スピードを調節します。



例1）演奏スピードを速く（約7%）調節



例2）演奏スピードを遅く（約15%）調節



◇CDスピード調節について

・CDの演奏スピードを±15%の範囲で調節します。

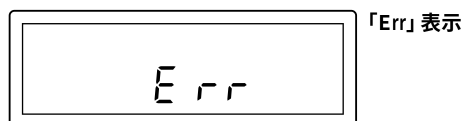
◇メモ

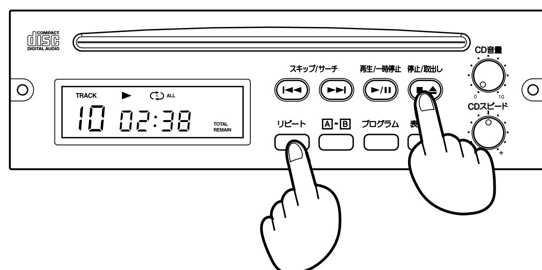
・スピード調節と同時に音程も変化します。

Err(エラー)表示の状態を解除できない場合

停止/取出しボタンとリピートボタンを同時に3秒以上押し続ける

□停止/取出しボタンとリピートボタンを同時に3秒以上押し続け、
エラー状態を解除してください。





◇エラー表示（Err）について

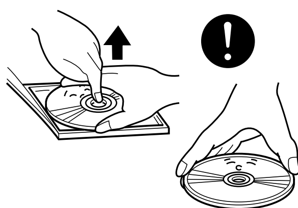
・CDプレーヤーになんらかの原因により異常が発生した場合、Err(エラー)が表示され操作する事ができなくなります。

◇お願い

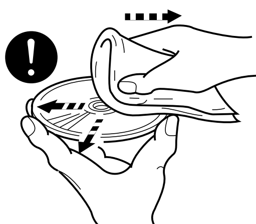
・エラーを解除しても、再びErr(エラー)が表示する場合は電源スイッチを切り、販売店などへご連絡ください。

コンパクトディスクの取扱いについて

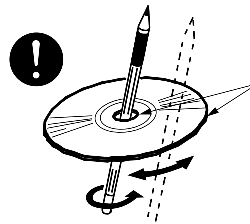
コンパクトディスクの取り扱いかた



●保護ケースからコンパクトディスクを取り出す場合、図のようにケース中心部を押し、コンパクトディスクの両端を持ってください。また、ディスク面には直接手を触れないようにしてください。

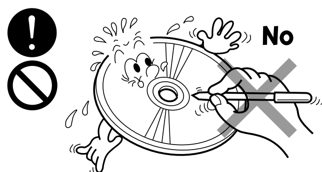


●コンパクトディスクを拭く場合は、乾いた柔らかい布で図のように、中心から外に向かって拭いてください。

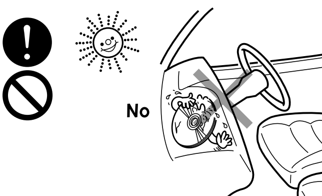


●新しいディスクには、ディスクの周囲に“バリ”が残っていることがあります。このようなディスクをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。バリのあるディスクは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。

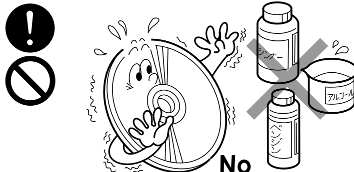
コンパクトディスク使用上の注意



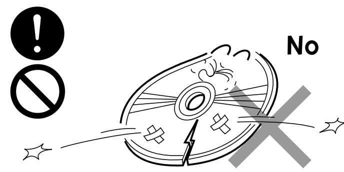
●ディスク面にラベルを貼ったり、鉛筆やペンなどでキズをつけたりしないでください。



●コンパクトディスクは熱に弱いので、直射日光のあたる場所やヒーターなどの近くに置かないでください。



●コンパクトディスクは、きれいなものをご使用ください。もし、汚れている場合は、乾いた柔らかい布で拭いてください。固い布や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは絶対に使用しないでください。



●大きいキズ、変形、ヒビなどがあるコンパクトディスクは使用しないでください。誤動作や故障の原因となる場合があります。

⚠注意 **市販のCD保護シートや、スタビライザーなどを装着したディスクは使用しないでください。メカニズム内部で引掛かりなどが発生し、ディスクを傷つける場合があります。**

ご使用になる前に

■ご確認事項

1.本機は“ COMPACT disc DIGITAL AUDIO ”表示のあるコンパクトディスク12cm以外のご使用はできません。CD-R、CD-RWなどに書込まれた音楽データについてはデータ書込みの状態、及び使用メディアの性能･品質などにより、正常に再生できない場合がありますのでご注意ください。

■取扱上のご注意

1. 冷えた場所から急激に温度が高くなる場所へ移動し、すぐに本機を使用すると、ディスクや光学部品が結露して正常な動作をおこなわないことがあります。ディスクが結露しているときは、柔らかい布で拭いてください。光学部品が結露しているときは、1時間ほど放置しておくと自然に結露がとれ正常に動作します。
2. 本機を傾けた状態で使用すると正常に動作しないばかりでなくメカニズム内部で引掛かりなどが発生し、ディスクに傷を付ける場合があります。
3. CD挿入口からのディスクの出し入れは無理におこなわないでください、本機の故障やディスクに傷を付ける恐れがあります。
4. ディスク走行中あるいはディスクをイジェクトしている状態で電源スイッチを切ったり、ACプラグを抜いたりした場合、ディスクが取り出せなくなることがあります。いったん電源スイッチを切り、もう一度電源スイッチを入れてディスクを取り出してください。

別売ユニットの取付方法

●本機は別売のワイヤレスチューナーユニット、または入力ユニットEU-300を合計4台まで組み込むことができます。(下表参照)　取付は販売店または、最寄りのユニペックス営業所にご相談ください。

◇適合ワイヤレスチューナーユニット

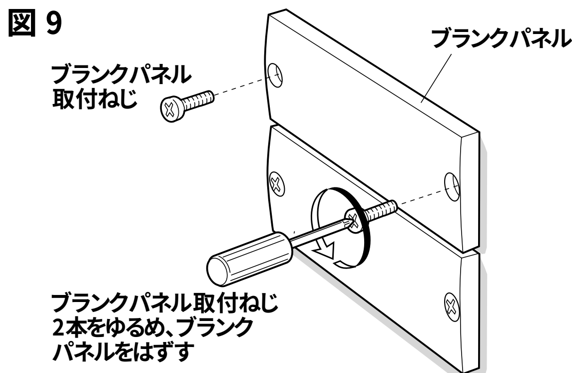
形　　式	受信周波数帯	品　　番
ダイバシティ	800MHz帯	DU-8200
ダイバシティ	300MHz帯	DU-3200A
シングル	300MHz帯	SU-3000A

※DU-8030は組込不可

1.ブランクパネルをはずす

本機の電源プラグをコンセントから抜き、ブランクパネルをはずしてください。ブランクパネルの裏側には4Pコネクターと同軸コネクター(A)が差し込まれていますので、それらをブランクパネルから取りはずしてください。(図9参照)

⚠警告　ご使用中は、感電の恐れがありますので、ブランクパネルをはずさないでください。ブランクパネルをはずすときは、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。



2.各コネクターをワイヤレスチューナーユニットに接続する

◇ダイバシティワイヤレスチューナーユニットを組み込む場合は、図10のように本機側とユニット側の同軸コネクター及び4Pコネクターを接続してください。同軸コネクターは必ず、同じ表示(A・B)のものと接続してください。また同軸コネクター(B)の保護チューブは接続前にはずしてください。(図11参照)

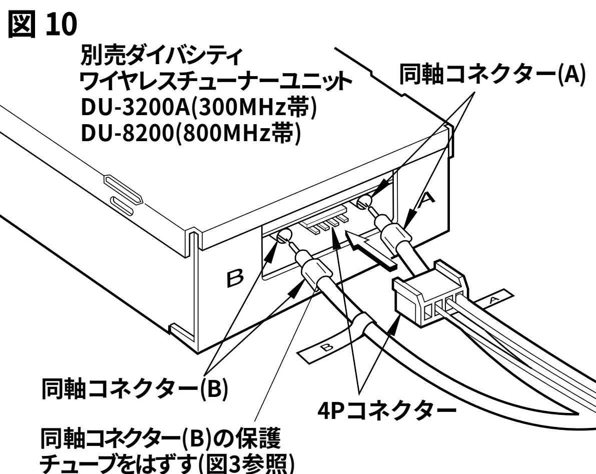
※入力ユニットEU-300を取り付けの場合

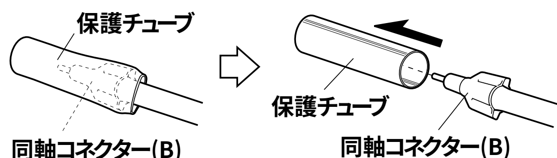
EU-300を取り付けの場合も同様に接続てください。取付手順**1**／**3**も同様です。

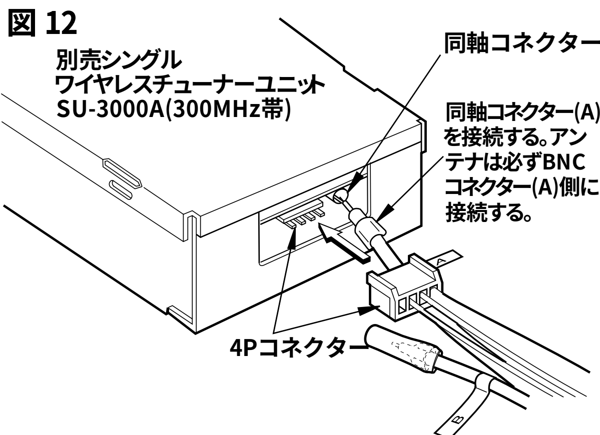
◇シングルワイヤレスチューナーユニットを組み込む場合は同軸コネクター(A)と4Pコネクターを接続してください。(図12参照)

※ワイヤレスアンテナは必ずBNCコネクター(A)側に接続してください。

◎取付ユニットの取扱説明書も合わせてご覧ください。

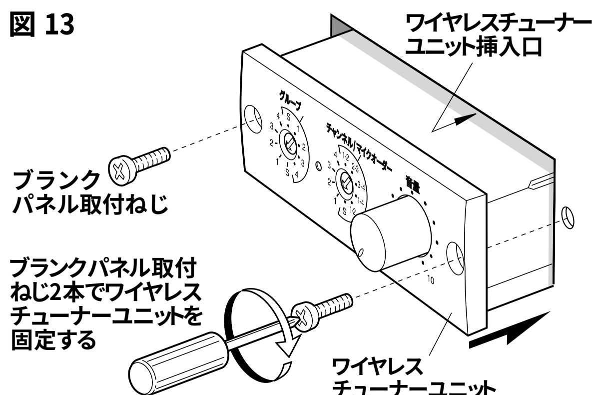






3.ワイヤレスチューナーユニットを組み込む

ワイヤレスチューナーユニットを本機のワイヤレスチューナーユニット挿入口に挿入し、ブランクパネルを取り付けてあった2本のねじで固定してください。(図13参照)

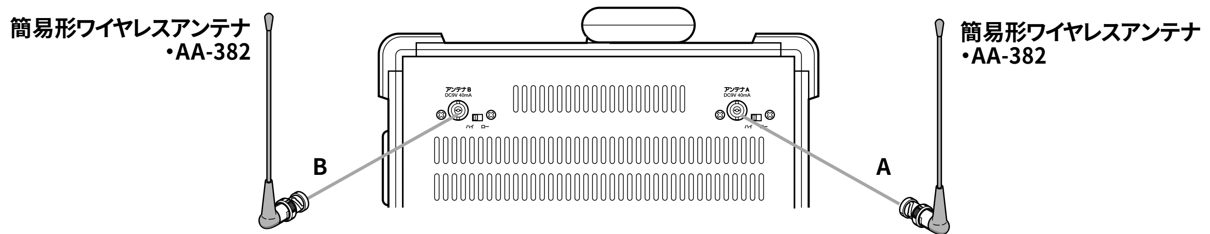


ご注意..　●ブランクパネルから4Pコネクターをはずす際には、ブランクパネルのロックのつめをはずしてから取りはずしてください。またワイヤレスチューナーユニット挿入時には、接続コードをはさみ込まないようにご注意ください。

アンテナについて

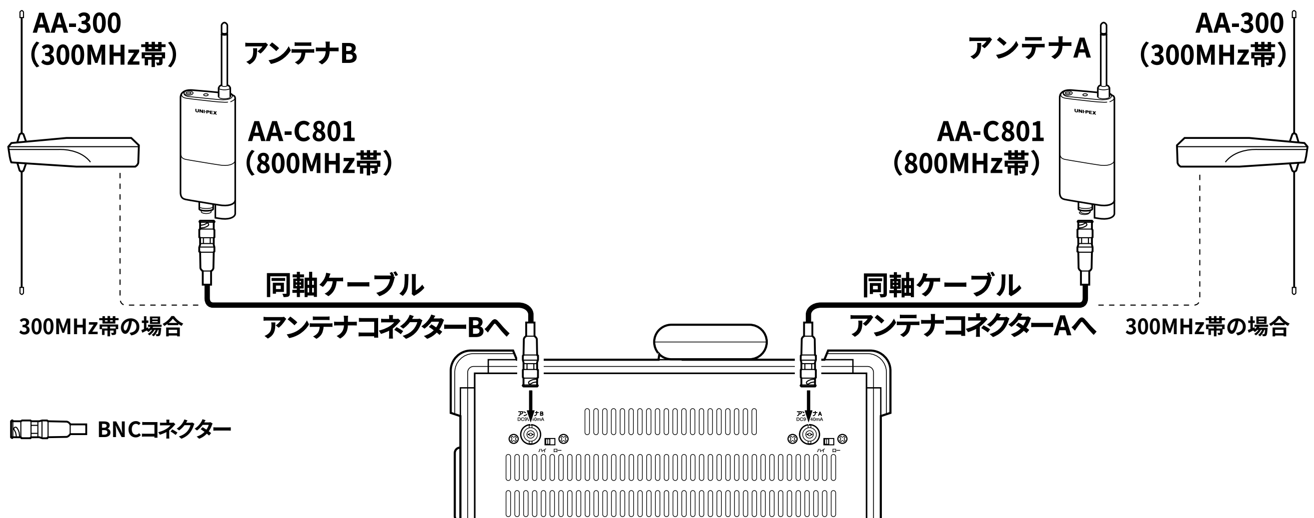
■簡易形ワイヤレスアンテナ(AA-382)の接続のしかた

●ワイヤレスマイクの移動する範囲内でアンテナのロッドが見えるように、本機背面のアンテナ端子A、アンテナ端子Bに垂直に取り付けてください。（800MHz帯／300MHz帯混用可）



■設置形ワイヤレスアンテナ(AA-C801/AA-300)の接続のしかた（設置例）

●本機が接続できるアンテナは最大2本です。（800MHz帯／300MHz帯混用不可）



アンテナ設置上のご注意

●下記表を参考にしてワイヤレスチューナーユニットに合ったワイヤレスアンテナを接続してください。

ワイヤレスチューナーユニット	受信周波数帯(形式)	適合アンテナ品番		アンテナ接続コネクター
DU-8200	800MHz帯(ダイバシティ)	AA-382	AA-C801	A / B
DU-3200A	300MHz帯(ダイバシティ)		AA-300	A / B
SU-3000A	300MHz帯(シングル)		AA-300	A

●ワイヤレスアンテナを設置する前に、あらかじめアンテナを仮設し、ワイヤレスマイクの移動範囲内で受信テストをおこないデッドポイントが最も少ない所を選んでください。

●雑音や妨害電波を避けるため、下記のような機器(場所)の近くには設置しないでください。
高周波乾燥機、高周波医療設備、電気熔接機、ブラッシングモーター、デジタル機器(コンピューター・電子楽器)、自動車(道路)、静電式空気清浄器など。

同軸ケーブルについてのご注意

●アンテナを接続する前に、同軸ケーブル配線がショートしていないことを確かめてください。ショート状態で電源スイッチを入れると機器を傷めることがあります。

●同軸ケーブルとBNCコネクターの接続、またはアンテナに直接ねじ止めする場合は接続が完全におこなわれていないと、高周波損失を招き電波伝送に大変悪い結果をもたらします。充分ご注意ください。

●アンテナと本機との距離が長くなりますと、減衰が大きくなり受信状態が悪くなります。下記表を参考にして、使用する同軸ケーブルをお選びください。

使用可能同軸ケーブル	3C-2V(※300MHz帯に限る)	5C-2V	5C-FB
延長可能距離(800MHz帯/300MHz帯)	―― /約25m	約30m/約40m	約60m/約80m
使用コネクター	BNCコネクター 別売AW-01／AW-02(AW-12)		

アンテナとワイヤレスマイクの関係について

●同じ周波数の妨害電波、高周波を使う機器が近くにないことを確認してください。やむをえず雑音源の近くでご使用になる場合は、ワイヤレスマイクとワイヤレスアンテナの距離は約2m〜10mの距離でご使用ください。なお、2m以内に近づくと、使用していないチャンネルへの飛び込みや混信などが発生することがあります。その場合は本機のアンテナ感度切換スイッチ、またはワイヤレスアンテナ内部のスイッチをローに切り換えてください。(詳しくはP6のアンテナ感度切換スイッチの説明をご覧ください。)

●ワイヤレスマイクを2本以上ご使用の場合は、マイクロホンどうしは50cm以上離してください。他の受信機へ混信することがあります。

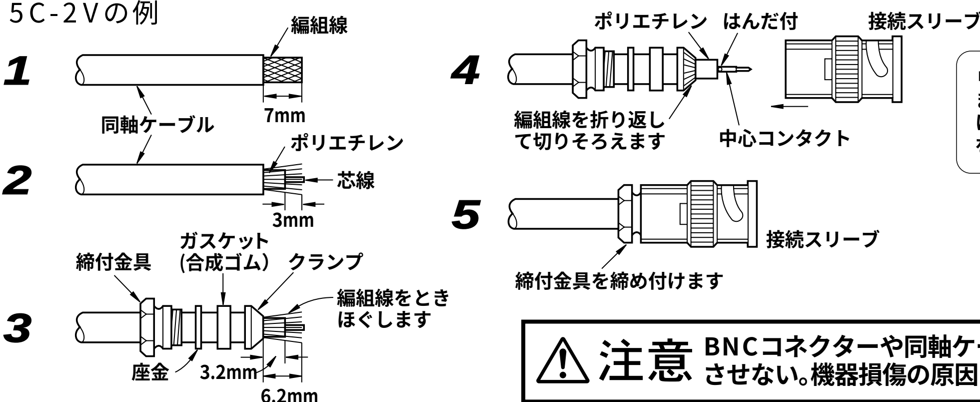
注) 使用中のワイヤレスマイクと同一周波数の他のワイヤレスマイクを「ON」にすると「ピー」という音がすることがあります。チャンネル(周波数)を変更してご使用ください。

BNCコネクターと同軸ケーブルの接続のしかた(例)

●同軸ケーブルの処理具合により受信性能が大幅に変わります。この説明に忠実にしたがってください。また同軸コネクターは性能の良いBNCコネクターを使用してください。

注) 接続後、芯線と編組線がショートしていないことをテスターなどで確認してください。

5C-2Vの例



ご注意
中心コンタクトは、ポリエチレンとすきまのないようにして、ポリエチレンが溶けないように素早く芯線にはんだ付けをおこなってください。

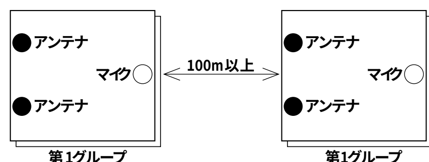
⚠注意 BNCコネクターや同軸ケーブルの配線をショートさせない。機器損傷の原因となることがあります。

ワイヤレスマイクシステムの設計・設置について

同一グループを近接場所で同時に使用する場合

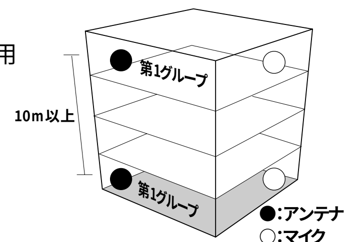
同一平面の場合

●お互いの使用場所を100m以上離してください。



階層が異なる場合

●鉄骨/鉄筋構造の場合、お互いの使用場所を垂直距離で10m以上離してください。
(木造の場合は不可)

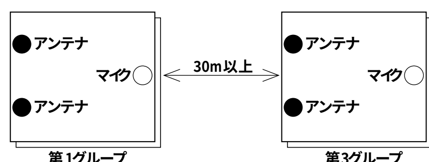


他のグループを近接場所で同時に使用する場合

例えば800MHz帯の第1グループ(B11〜B16)と第3グループ(B31〜B36)を近くで同時に使用する場合は、以下のような注意が必要です。

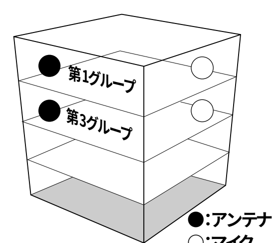
同一平面の場合

●お互いの使用場所を30m以上離してください。



階層が異なる場合

●鉄骨/鉄筋構造の場合、階層が異なれば、同一平面の場合のような制限はなく使用できます。
(木造の場合は不可)

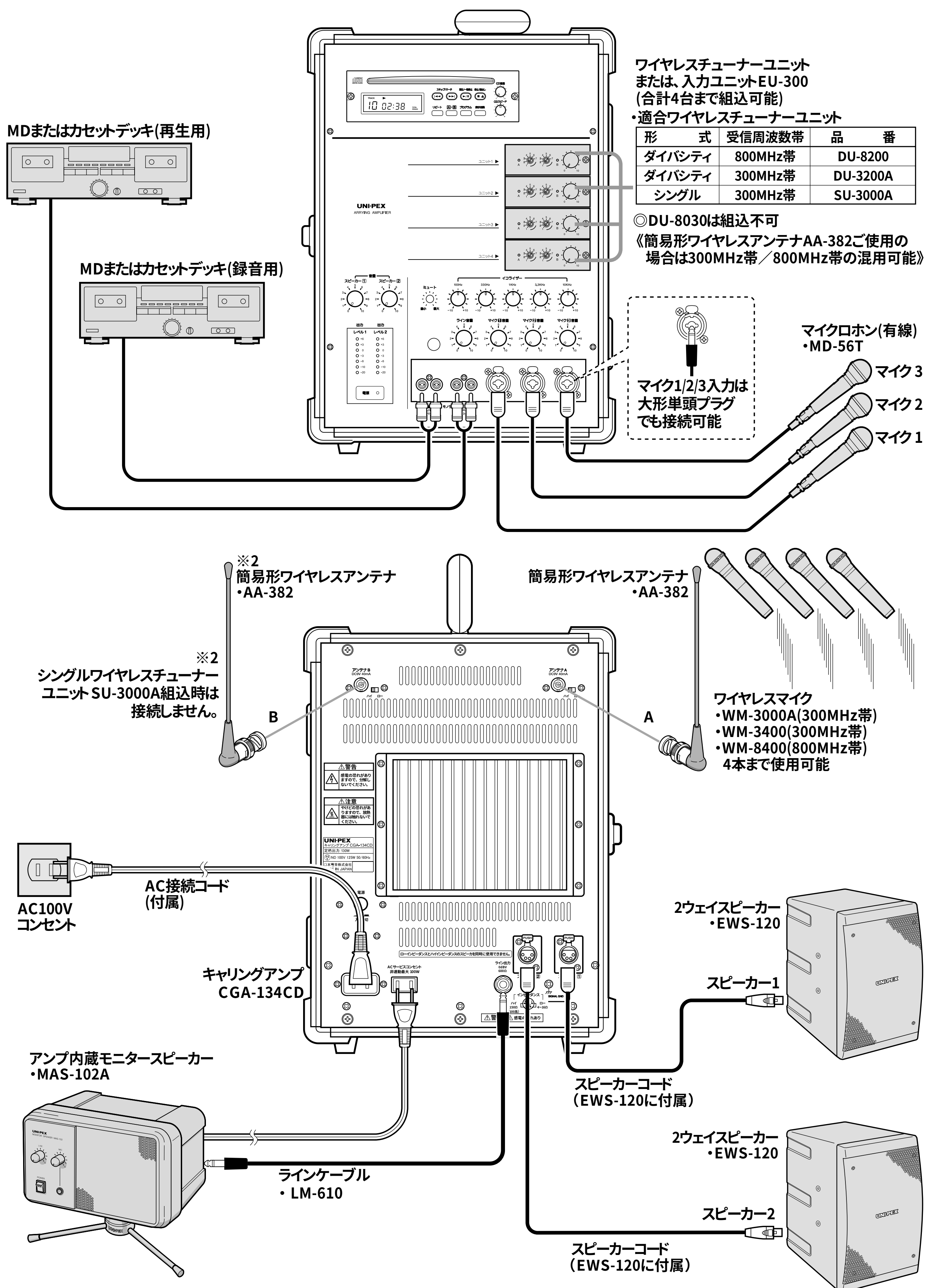


注:同一閉空間(仕切りは壁、戸、ガラス等)では、1つのグループ(800MHz帯では6chまで、300MHz帯では4chまで)しか同時使用できません。

●上記はユニペックスワイヤレスマイクシステムの基本的な説明です。

接続例

（下記以外の接続については、販売店などへご相談ください。）



形　　式	受信周波数帯	品　　番
ダイバシティ	800MHz帯	DU-8200
ダイバシティ	300MHz帯	DU-3200A
シングル	300MHz帯	SU-3000A

キャノンタイプコネクターの説明

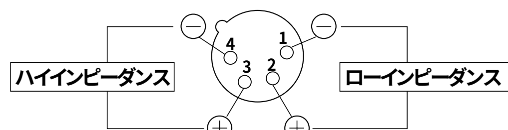
●本機のマイク入力端子とスピーカー出力端子はキャノンタイプコネクター(XLR-3-31/XLR-4-31相当)です。



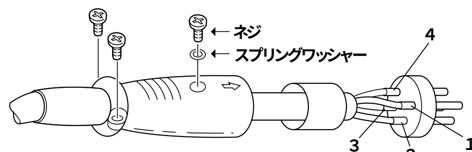
配線を間違えない、ショートさせない。機器の損傷や火災・感電の原因となることがあります。

結線図

●スピーカー出力用(XLR-4-12C相当)

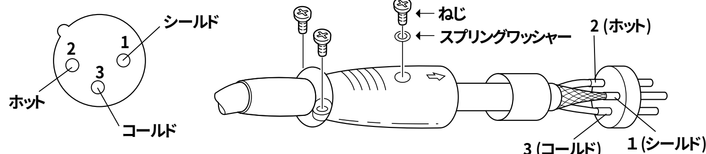


注) ハイインピーダンススピーカーとローインピーダンススピーカーを同時に使用することはできません。

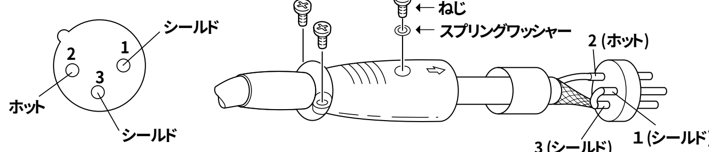


●マイク入力用(XLR-3-12C相当)

■マイク(平衡)

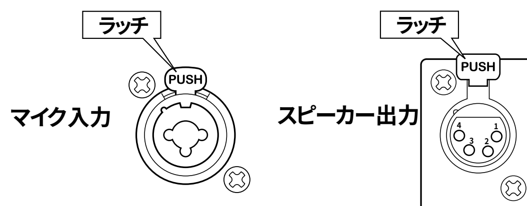


■マイク(不平衡)



接続のはずし方

●キャノンタイプコネクターの接続をはずされるときは、本機側のコネクターのラッチを押しながら抜いてください。



点検方法

ほんのちょっとしたことで正常に動作せず、故障かな？と思うことがあります。次の要領で点検してみてください。



●次の方法で点検されても正常に動作しないとき、または使用中に急に異常が発生したときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙などの異常が無いことを確認し、販売店などへご連絡ください。

●本機は絶対に分解しないでください。感電の恐れがあります。修理は、必ず販売店などにご依頼ください。

症　　状	点　検　項　目	対　　策
全く動作しない	電源が接続されていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源表示灯が点灯していますか。	電源スイッチを入れてください。
	電源スイッチは入っていますか。	電源スイッチを入れてください。
	各音量調節つまみが絞られていませんか。	各音量を適当な音量に調節してください。
有線マイクの音声がでてこない	マイクのトークスイッチは入っていますか	マイクのトークスイッチを入れてください。
	マイクプラグは確実に差し込まれていますか。	確認してください。
	マイクは正常ですか。	他のマイクと交換してください。
	マイク音量調節つまみが「0」位置になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
スピーカーより音がでない。	スピーカー接続コネクターは確実に接続されていますか。	確認してください。
	スピーカー出力つまみが「0」位置になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
音がわれる	出力レベルメーターの赤色LEDが常時、点灯していませんか。	赤色LEDが常時、点灯しないように音量を調節してください。
音質がおかしい	正しくイコライザーが使用されていますか。	イコライザー調節つまみの説明をよく読んで調節してください。
雑音がでる	本機やスピーカーコード、マイクコードなどがノイズを発生する機器の近くにありませんか。	ノイズを発生する機器から遠ざけてください。
外部機器の音がでない。または小さい。	接続機器及び本機の入力音量調節つまみが「0」位置になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
	接続機器のレベルは合っていますか。	ライン入力の説明をご覧ください。

CDプレーヤー部

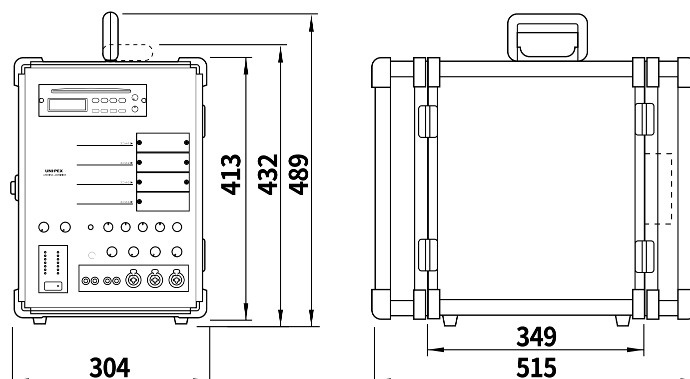
症　状	点　検　項　目	対　策
全く動作しない	電源が接続されていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	ディスプレイ表示灯が点灯していますか。	電源スイッチを入れてください。
	CDプレーヤー部後面のID設定スイッチを変更していませんか。	ID設定スイッチをすべて上側（OFF）にしてください。
演奏時間は進んでいるが音声がでてこない	CD音量調節つまみが「0」位置になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
CDが入らない	本機の中にCDが入っている。	停止/取出しボタンを押して、CDを取り出してください。
CDがすぐ出てしまう	CDを裏表逆に入れていませんか。	CDのレーベル面を上にして入れてください。
CDがイジェクトできない	極端な電源変動による誤動作、または機構の誤動作。	販売店などへご相談ください。ドライバーなどで無理に取り出さないでください。
音飛びする、ノイズなどが入る	CDが汚れている。	CDを柔らかい布で拭いてください。
	CDに傷やそりがある。	傷やそりの無いCDに交換してください。
音飛びする CDを認識しない	CD-R、CD-RWを使用していませんか。	データ書込みの状態、及び使用メディアの条件などにより、正常に再生できない場合があります。 正常に再生できるものと交換してください。

ワイヤレスチューナーユニット部

症　状	点　検　項　目	対　策
全く動作しない	電源が接続されていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源表示灯が点灯していますか。	電源スイッチを入れてください。
ワイヤレスマイクの音声がでてこない	マイクのトークスイッチは入っていますか	マイクのトークスイッチを入れてください。
	マイクの電池は入っていますか。	確認と同時に電池の消耗もチェックしてください。
	マイクとチューナーユニットの周波数は同じですか。	グループ／チャンネル番号を確認してください。
	デッドポイントの位置ではありませんか。	確認してください。
	ワイヤレスチューナーユニットの音量調節つまみが絞られていませんか。	適当な音量に調節してください。

外観寸法図

（単位 mm）



定格

品　　　　　番	CGA-134CD
使　用　電　源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	125W（電気用品安全法による測定方法に基づく）
消　費　電　流	AC4.0A(定格出力時)
定　格　出　力	65W×2
出　力　負　荷 インピーダンス	150Ω×2　平衡 4Ω(4～16Ωスピーカー使用可能)×2　不平衡
録　音　出　力	−10dBV　2.2kΩ　不平衡
ラ イ ン 出 力	0dBV　600Ω　不平衡
ひ　ず　み　率	5%以下(1kHz 定格出力時)
周　波　数　特　性	50Hz～18kHz　偏差±3dB(ライン入力　定格出力−10dB時) 100Hz～10kHz　偏差±3dB(マイク入力　定格出力−10dB時)
音　質　特　性	100Hz / 330Hz / 1kHz / 3.3kHz / 10kHz　5ポイントイコライザー　±10dB (ライン入力　各周波数ポイント基準)
入力感度及び インピーダンス	マイク 1～3：−62dBV　600Ω　電子平衡　音量調節器付 ライン：−22dBV　10kΩ　不平衡　音量調節器付
信号対雑音比	65dB以上
アンテナ入力	BNCコネクター×2 アンテナ感度切換スイッチ付 ファンタム電源送り(簡易型ワイヤレスアンテナ取付可能)
動　作　表　示	電源：LED(緑)、出力表示：LED(緑×4／赤×3) 2系統
付　帯　機　能	フェーダー機能(減衰量調節付)：マイク、ワイヤレス入力によりライン、CD音量が減衰 リミッター機能 ：マイク、ワイヤレス入力において過大入力時のひずみを軽減
●CDプレーヤー部	
適　合　C　D	コンパクトディスク 12cm
周　波　数　特　性	20Hz～20kHz (偏差±1dB)
スピード可変範囲	±15%
付　帯　機　能	シングルリピート・オールリピート・A-Bリピート・プログラム再生・自動バックライトオフ機能
表　　　　　示	動作表示（液晶表示）バックライト付
使用温度範囲	0℃～＋40℃
外　　　　　装	パネル(鋼鈑)：マンセルN1　近似色　ブラック　半艶塗装 ケース（アルミニウム製）：アルマイト仕上げ　シルバー色
寸　法　／　質　量	幅304mm　高さ489mm　奥行515mm／約17.2kg
付　　属　　品	取扱説明書1、ACコード1

RKTCGA134CD-H0-0